

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 愛知県立豊橋聾学校

種 別  保育園・幼稚園       小学校       小中一貫教育  
 中学校       中高一貫教育       高等学校  
 教員養成       技術/職業教育  
 特別支援学校       その他 (                      )

所在地 〒 441 - 8141  
愛知県豊橋市草間町字平東 100 番地

E-mail soumu@toyohashi-sd.aichi-c.ed.jp

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 39 名      女子 29 名      合計 68 名  
 児童・生徒の年齢 3 歳～ 18 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (                      )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### ア 国際理解

小学部では、外国語活動の時間に、5、6年生で講師を招いて外国の文化や言語、風習について体験的に学ぶ学習活動を設定している。

中学部では、年に2回国際理解交流として、講師を招いて文化や生活について講演いただいている。今年度はモンゴルと韓国について、文化や習慣、料理について学ぶことができた。

高等部では、在日韓国人の聾者の方を講師として、韓国の聾者の生活などを説明していただいた。総合的な学習の時間の1グループとして、国際理解グループがあり、個々の生徒が興味をもった外国の情報について、調べ発表した。

#### イ 平和・人権

各部署で幼児児童生徒の実態に合わせた指導を行っている。

居住地校交流実施前に交流校にて、聴覚障害児理解推進事業を行っている。

人権についての話を聞くだけでなく、人権について調べたり、考えたりしたことを、生徒同士が話し合い、理解を深める機会も設けている。聴覚障害により、過去にはいろいろな制約があったことや、改善されていった経緯を知ることにより、感謝の気持ちをもつとともに、自分たちのできることを頑張らなければいけない等、様々な思いを話し合い、考えを深めることができた。また、掲示された人権ポスターに興味深く見たり、友達と話したりする様子もみられた。

#### ウ 環境

本校の恵まれた自然環境を活用して、自然と触れ合い、自然のよさを実感する等、様々な活動に取り組んでいる。そこから、発達段階に応じて視野を広げて校外の環境にも目を向け、環境に対する知識や理解を深めている。

校外学習時に生徒たちが自主的に海岸の清掃活動を行ったり、環境についての視点をもち施設見学を行ったりと、様々な場面で環境を意識した活動を取り入れている。そうした活動を通して、環境を守る大切さについて考えることができた。近隣の公民館を使用した際には、館内の清掃を行うなど、知識を深めるだけでなく、行動力も身に付け始めている。

テトラパックの紙容器を集めたり、作業学習のグループで、エコキャップの回収、洗浄、回収業者へ搬入したりする等、授業の中に環境を意識した活動も取り入れている。

#### エ 気候変動

自然災害等、授業で取り扱っている。

気候変動についてのニュースを取り上げ、適宜話題を提供して、自然について考える機会を設けている。

#### オ 食育

本校は、自校で給食を調理しているため、幼稚部から高等部までの幼児児童生徒が調理してくれた方々から給食をもらい、返却している。食器を返却する際には、感謝や味の感想を伝える等、食への感謝の気持ちを育む指導を行っている。また、給食週間には食への関心を高め、知識を深める工夫がされている。今年度は、伊勢志摩サミットが開催される三重県の特産物を使った献立や地元愛知の食材を知る献立が並んだ。毎年、部のリクエストメニューが出る日もあり、該当となった部が希望した献立を幼児児童生徒たちは楽しみにしている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）